令和6年度（2024年度）北海道防災総合訓練（第1回）

○ **目　的**

北海道地域防災計画に基づき、北海道、防災関係機関、関係市町村の共同により、大規模な地震・津波災害を想定した訓練を実動で行うことにより、災害時における応急対策活動能力の向上を図り、北海道の災害対応力を強化することを目的とする。

○ **訓練日程・主要会場**

令和6年8月4日（日）　釧路市、釧路町、厚岸町、弟子屈町、鶴居村

○ **主催等**

●主　催 北海道防災会議　　●共　催 釧路総合振興局管内8市町村

○ **訓練内容**

1　訓練想定　　日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い、太平洋沿岸地域に巨大津波が発生

2　訓練実施項目

■ 情報伝達訓練
- ○防災情報システム等複数の伝達手段を用いた市町村への情報伝達・共有
- ○各種手段（防災無線、エリアメール等）を活用した住民への情報伝達
- ○臨時災害放送局による避難所情報の発信

■ 住民避難訓練
- ○高齢者や車いす使用者など避難行動要支援者への避難支援
- ○避難者にGPSを携帯させ避難経路や移動距離等のデータを測定

■ 避難所運営訓練
- ○高齢者や聴覚障がい者など避難行動要支援者の受け入れ要領
- ○防災講話
  - 「厚岸の津波災害を想定した逃げるまでの課題と逃げてからの対策」
  - 講師　日本赤十字北海道看護大学　教授　根本昌宏（厚岸町会場）
- ○関係機関による通信環境等の説明、段ボールベッドの組立等
- ○救護所等のブース設置、防災パネル等の展示、防災物品等の研修

■ 広域避難訓練
- ○沿岸市町（釧路市、釧路町）から内陸部の町村（弟子屈町、鶴居村）へのバスを活用した住民移送
- ○受け入れ町村における避難所の開設・運営、段ボールベッド組立等
- ○防災講話
  - 「地震と津波について」
  - 講師　釧路地方気象台　防災官　伊藤　暢宏（弟子屈町会場）
  - 講師　釧路地方気象台　防災官　塩谷　栄吉（鶴居村会場）

■ 救出救助訓練
- ○関係機関（陸上・海上自衛隊、第一管区海上保安部）船舶及び救護員による海中転落者に関する情報共有及び共同による救出救助

■ 医療救護訓練
- ○DMAT、救急隊による傷病者の応急処置及び搬送
- ○現地災害対策本部（厚岸消防署）における患者の搬送先調整

■ 情報収集訓練
- ○北海道開発局が保有するドローンによる道路被災状況の確認及び映像伝送
- ○漁業取締船ほくと搭載ドローンによる漁港等被災状況の確認及び映像伝送

■ 物資輸送訓練
- ○民間ドローンを活用した孤立地域への支援物資の輸送
- ○民間トラックを活用した被災地への支援物資の輸送
- ○物資輸送調達支援システムの活用

■ 架橋設置訓練
- ○道路寸断を想定した自衛隊の架橋による緊急輸送路の確保

※訓練当日は悪天候のため、ヘリの運用を中止した

○ **参加機関等**　　計57　団体（うち市町村　8団体）　　約　1，100名

【北海道（1）】

総務部危機対策局、総合政策部次世代社会戦略局、保健福祉部地域医療推進局、水産林務部水産局
釧路総合振興局

【訓練参加市町村（8）】

釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町

【北海道防災会議構成機関（16）】

北海道総合通信局、北海道開発局、気象庁（札幌管区気象台・釧路地方気象台）、第一管区海上保安本部、
陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、北海道警察、日本放送協会札幌放送局、
東日本電信電話株式会社北海道事業部、日本郵便株式会社北海道支社、KDDI株式会社北海道総支社、
株式会社NTTドコモ北海道支社、公益社団法人北海道看護協会、一般社団法人北海道薬剤師会
公益社団法人北海道トラック協会

【災害時協定締結企業等・その他協力機関（32）】

厚岸漁業協同組合、厚岸町社会福祉協議会、厚岸町赤十字奉仕団、釧路東部消防組合（厚岸消防署）、
釧路北部消防事務組合（弟子屈消防署）、弟子屈町社会福祉協議会、弟子屈町女性消防団、
弟子屈町赤十字奉仕団、日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、
一般社団法人日本産業・医療ガス協会北海道地域本部、一般社団法人北海道LPガス協会釧路支部、
北海道災害リハビリテーション推進協議会、北海道立総合研究機構、北海道公立大学法人札幌医科大学、
市立釧路総合病院、総合病院釧路赤十字病院、アキレス株式会社、あっとクリエーション株式会社、
植村建設株式会社、サイボウズ株式会社、札鶴ベニヤ株式会社、新成物産株式会社、株式会社セコマ、
辻谷建設株式会社、株式会社ドリームベース、日本セイフティー株式会社、有限会社古建工業
株式会社北海道クラウン、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道電力ネットワーク株式会社
株式会社マルベリー、株式会社ムラカミ

※上記については、主要会場において協力いただいた機関を掲載

○ **参加者の声（主要会場におけるアンケート集計結果）**

■ 全般
- ・ほぼ全ての参加者が本訓練により防災意識が向上したと述べている。
- ・今後も同様な訓練がある際は、是非参加したいとの意見が多く見られた。

■ 訓練に参加して最も印象に残ったこと

1：ダンボールベッドの組立　2：災害用トイレの使用法　3：防災講話　4：広域避難訓練

■ 今後訓練に取り入れて欲しい事項

1：ペット同伴避難訓練　2：宿泊訓練　3：防災物品・車両等の展示

■ その他自由意見（抜粋）
- ・日頃からいざというときに備えておくことの重要性を再認識した。
- ・実際に体験することで印象に残りやすく習得できたことが実感でき、自信がついた。
- ・避難した後の対策（低体温症やエコノミークラス症候群の防止等）をとることの重要性について、認識した。
- ・防災物品が日々進化していることから、それを使いこなすためにもこのような訓練が必要だと感じた。
- ・今回は聴覚障がい者の対応について学んだが、要配慮者の方々をサポートすることの重要性を認識した。
- ・子供と一緒に参加したが、楽しく防災について学ぶことができた。
- ・広域避難の重要性をよく理解した。今後も複数の自治体間で協力した同種訓練を継続する必要がある。

令和6年度（2024年度）北海道防災総合訓練（第１回）の主な様子（主要会場）

避難所運営訓練：太田活性化施設らくとぴあ

避難住民の受付

有識者による防災講話

段ボールベッドの組立

防災物品等の研修

救出救助・ドローンに係る調整：厚岸消防署

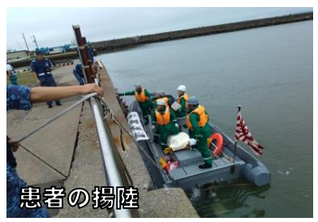
関係機関による調整活動

Starlinkを活用した映像のモニタリング

救出救助・医療救護訓練：厚岸漁港、太田小

海保搭載艇による捜索

海自ボートによる救助


患者の揚陸

陸自隊員による応急救護

消防による患者の搬送

DMATによる患者の治療

広域避難訓練：① 大楽毛地区（釧路市）～ﾌｧﾐｽﾎﾟ･ｱｯﾌﾟ（鶴居村） ② 釧路町役場（釧路町）～釧路圏摩周観光文化ｾﾝﾀｰ（弟子屈町）

警察車両による先導

バスを活用した広域避難

車いす使用者の受入

段ボールベッドの組立

有識者による防災講話

情報収集訓練：門静地区、厚岸漁港

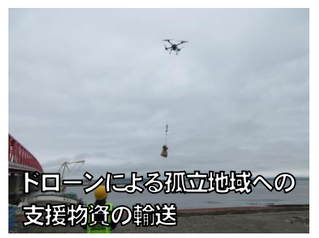
ドローンによる空撮映像

ドローンによる被災状況の確認と映像伝送（北海道開発局）

ドローンによる被災状況の確認と映像伝送（取締船ほくと）

道指揮室における空撮映像のモニタリング

物資輸送訓練：厚岸大橋周辺　他


ドローンによる孤立地域への支援物資の輸送

トラックによる支援物資の輸送

架橋設置訓練：標茶町開運10丁目

自衛隊が設置した架橋

支援物資を積載したトラックの渡橋